

重点調査項目	道路、河川及び橋りょうに関する調査
発言項目	橋梁の長寿命化計画と改修工事について
	（発言主旨）橋梁長寿命化計画の遅延の影響を質すとともに今後の点検に科学的手法を取り入れて改修工事を強化することを求めた。
	（理事者との応答）概要
	Q 橋梁長寿命化修繕計画に遅れが生じていることの原因と影響について伺う。
	A 橋梁長寿命化事業は、国の社会資本整備総合交付金を活用して進めているが、近年、交付金の要望額に対する配当額の割合（要望措置率）が低くなっているほか、資材費や人件費の高騰も遅れの原因となっている。交付金の減少により当該年度に修繕ができなかった橋梁については、次年度以降に修繕ができるよう増額して要望しているところ。（計画の遅延が危険につながることはない）
	Q 橋梁の点検結果を伺う。
	A 定期点検はこれまで197橋実施している。診断結果は状態の良い方から「Ⅰ健全」、「Ⅱ予防保全段階」、「Ⅲ早期措置段階」、「Ⅳ緊急措置段階」の4つに分類することになっており、197橋の診断結果は、「Ⅳ緊急措置段階」に分類された橋はないものの、「Ⅲ早期措置段階」に分類された橋梁は32橋となっている。
	Q これからのインフラ点検は、施設内部を広範囲かつ非破壊で点検できることが重要であり、科学的手法を取り入れるべきと思うがどうか。
	A コンクリート構造物のひび割れ深さの計測に超音波法、コンクリート構造物の鉄筋の配筋状態やかぶり厚の調査に電磁波レーダーを使用した市実績がある。今後も国や北海道の情報に注視し、先進事例を参考にしながら取り組みたい。

重点調査項目	学校教育に関する調査
発言項目	市内中学校3年生の英語検定3級以上相当の割合について
	（発言主旨）他議員が市内中3の英語力に関し、英語検定3級以上相当の割合を質問したことについて、市教委が単に数値を並べ立てた答弁を行ったことの問題を質した。
	Q ただ今の○番議員の質問に対する市教委答弁について、学校で行われる民間の英語検定の受検は自由であり、受験料も個人負担である。こうした性格のテストを学力指標のように話すことは問題であり、学校評価にもつながる懸念がある。また、3級以上相当の英語力についても英語教師個々の判断であることから答弁は慎重に行うべきであり、あくまで参考資料とすることの説明を併せて行うべきと思うがどうか。
	A 学校の英語検定は指摘の通り、受検は自由であり受験料も個人負担である。

発言項目 学校徴収金の保護者負担の軽減について

(発言主旨) 学校徴収金について学校毎の格差を極力少なくするなど工夫して学校徴収金の保護者負担を軽減すべきであることを質した。

Q 保護者の教育費負担について、中学入学時に必要な制服やジャージなど体操着にかかる経費が高額なこと、また、学校によって看過できない格差のあることが問題視されている。帯広市の実態を伺う。

A 一般的な価格帯については、メーカーや生地などにより異なるが、男子の制服では、詰襟では20,000円から49,000円程度となっており、その他にブレザーを指定している学校もあるところ。また、女子の制服では、型やメーカー、生地などにより異なるが、34,000円から50,000円程度となっており、学校により、イートン服、セーラー服、シングルスーツやブレザーを指定しているところ。(メーカーや販売店についての指定はない) 指定ジャージについても、学校により異なるが、上下とハーフパンツの3点で11,000円から16,000円程度となっているところ。

Q 制服やジャージを少しでも安く買えるように価格を公表してはどうか。合わせてレンタルやリユースの情報提供も学校に要請し、また市教委自らも行ってはどうか。

A 制服の価格について市教委として公表することは、特定の業者やメーカーに有利あるいは不利になる可能性もあることから、難しいものと考えている。また、レンタルのご案内等についても特定の業者に有利あるいは不利にならないよう配慮する必要があるが、12月に小学校を通じてお知らせした中学校進学時の年間諸費用の目安の中で、制服などについては、兄弟のものや再利用やレンタル等の利用でも構わないというような表記をするよう各学校へ依頼したところ。

学校教育に関するその他の質問

- (1) 小中学校適正規模の確保に関する計画について  
前期対象校の選定とその後のスケジュール
- (2) 教職員の長時間勤務の解消について  
学校における働き方改革に係る新年度からの取組み

**【重点調査項目における他議員の発言一覧】**

①道路・河川及び橋りょうに関する調査

- ・PCB使用の橋梁対策について
- ・除雪体制の強化について

②上、下水道の維持管理に関する調査

- ・マンホール蓋の修理について

③学校教育に関する調査

- ・新学習指導要領の実施について
- ・通学区域の見直しについて

④スポーツに関する調査

- ・2026北海道・札幌オリンピック冬季競技大会の招致に係る経過について
- ・帯広・韓国アイスホッケー親善交流大会について